

# 株主・投資家との対話の実施状況

2025年6月27日



# 対話の実施状況(2024年度)

当社は、企業価値向上を目的に株主・機関投資家の皆様との対話に積極的に取り組み、対話の内容及び助言につきましては、取締役会等を通じて社内へのフィードバックを適時実施

	回数	対話相手	対応者
決算会見(四半期毎)	4回	アナリスト ファンドマネージャー	管理本部副本部長 (兼任：経営企画部長)
決算説明会	2回		社長、取締役、執行役員本部長
工場見学会	1回	機関投資家 アナリスト	社長、製造本部長、 管理本部副本部長
個別面談・取材	44回	機関投資家 アナリスト ファンドマネージャー	社長、管理本部副本部長、IR担当

# 対話の主なテーマや株主の関心事項

テーマ	主な内容
決算の概況	<ul style="list-style-type: none"><li>・売上高・営業利益等の増減要因</li><li>・セグメント別収益の状況</li><li>・財務の健全性及びバランスシートの状況</li></ul>
事業戦略・事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・市場環境の変化と成長戦略の連関性</li><li>・当社の特徴・強み</li><li>・ものづくりの改善実施状況</li></ul>
財務戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>・PBR向上施策・資本コスト</li><li>・株主還元の見え方</li><li>・受注・投資案件の判定基準</li></ul>
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"><li>・スキルマトリクスを選定プロセス</li><li>・取締役会、指名報酬委員会の議論活性化</li><li>・取締役会実効性評価の運用</li></ul>
サステナビリティ・その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・気候変動に向けた取り組み</li><li>・ダイバーシティの推進状況</li><li>・人権の尊重に関する取り組み</li></ul>

# 社内へのフィードバック、対話を踏まえた対応状況

## 社内へのフィードバック状況

	主な内容	実施回数
取締役会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算発表後の株主・投資家との対話状況</li> <li>・IR年次活動の実績及び課題の対応</li> </ul>	4回/年 1回/年
経営陣、関連部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営会議でのIR活動施策の議論・決定</li> <li>・決算説明会、統合報告書等の資料の検討</li> </ul>	適宜実施

## 対話を踏まえた対応状況※取組み中の項目も含む

要望事項	主な内容
スキルマトリクスの充足率適正化	・取締役におけるスキル充足度評価の定義を変更し、取締役会の構成及び多様性を最適化
非財務指標と報酬制度の連動	・取締役の中長期インセンティブの業績条件にCO <sub>2</sub> 排出量削減目標を追加
配当方針の明確化	・配当下限額としてDOEを追加し、安定的な配当を実施することを配当方針として明確化